

もの作り分科会

今年の大会では、当初2コマだった分科会の枠を3コマに増やしてもらったので、たっぷり時間をとって発表することができました。

ものづくり分科会の発表は、こんなものを作ってきましたという紹介だけをされる資料発表と、実際に参加者の皆さんに作ってもらう資料発表があります。

例年ですと、〈作る〉作業のある発表の時には、それぞれの発表の時に作る作業をいれたり、分科会では紹介だけにしてナイターで作ったりというようになっていました。

発表の時に、同時に作るというのはいいように思うのですが、

「別に作りたくないや」とか

「もうそれ知ってるからいいよ」

と思っている人にとっては、早く次の発表が聞きたいなというような感じになっているのではないかと、危惧していました。

そこで、今回司会をすることになって、分科会の運営を少し変えてみようと考えました。

それは、発表したい資料をホワイトボードに書いてもらうときに、〈作る〉のか〈紹介だけ〉なのかを書いてもらったことです。

そして、〈作る〉も〈紹介だけ〉も順番通りに発表をしてもらいました。ただし〈作る〉の人は、この発表の時には作る作業をしてもらいませんでした。〈作る〉の資料発表が3つぐらい出たところで、それぞれの〈作る〉をコー

ナーに分けて分科会参加者に体験してもらうようにしたのです。

分科会参加者も、自分のやりたいものづくりを自分で選べること、時間を十分にとることで、3つぐらいなら全部<作る>体験ができるし、しかも、特に気になるものづくりがあった場合、そこでずっと体験したり、話したりすることができるので、<作る>の時間を特設したのは参加者の皆さんにも好評でした。

こうすることで、時間を有効に使うことができたのではないかと感じています。

今後ものづくり分科会の運営について参考になればいいと思います。

資料では、愛知県の池上さんの『<広告リング>と毛糸でリングキャッチャー』では、金属のチェーンを毛糸で、リングを広告紙でするなど、非常に簡単なものづくりでした。毛糸の輪っかがねじれないようにする工夫や、リングをキャッチするときの演出まで示されていて、リングキャッチャーを作った子が全員うまくキャッチできる様に配慮がなされていました。

折り染めを使うものづくりの資料も数本出されました。東京の佐藤さんは、折り染めした紙をラミネートし、それをペットボトルにかぶせて花瓶を作りました。

奈良の皿谷さんは折り染めを使ってきれいなバラの花を作りました。

大阪の浦木さんは折り染めした紙を布製の袋にデコパ

ージュして、水にぬれても大丈夫なきれいな袋を作りました。デコパーージュの材料も百均店でそろえられるようです。折り染めは今後もどんどんいろんな発展がありそうです。

京都の吉竹さんは、ジュースやビールの空き缶を使って本当にくるくるよく回る「管風車」を紹介してくれました。ちょっと持って歩くだけでもくるくると本当によく回りました。

愛知の伊藤さんは、ポップコーンをする前に、ポップコーンについて学ぼうという感じで、『ポップコーンの話』というミニ授業プランを発表してくれました。ポップコーンをまいたら芽が出てくるか、普通のトウモロコシでポップコーンはできるか、ポップコーンはどうして膨らむのかななどの問題を考えました。ただ単にポップコーンを食べるだけでなく、こういう問題があっていいなあと感じました。

神奈川の野村さんは、プラバンで作るアクセサリーについて紹介してくれました。プラバンの厚さの違いで、縮み方が違うことなど、初めて知ることも多かったです。

おやつ作りでは、佐賀の日吉さんがシュウマイの皮で作る〈はるまっきー〉や、お麩で作る〈きなこショコラパフ〉富山の島さんの残ったご飯もおいしく食べよう「ライスケーキ」、静岡の加藤さんは『春巻きの皮で簡単パイ』などの発表があり、日吉さんのきなこショコラパフと加藤さんの春巻きの皮で作る簡単パイは、実際に作って食べました。

京都の宮本さんは、ホイッスルで音階を作ったり、輪ゴムと牛乳パックで作ったモノコードで音階を作ったりする方法など、音に関するものづくりを発表してくれました。

愛知の市原さんは「手のひらATM」という手品グッズの紹介をしてくれました。軽妙な語り口に、ついつい引き込まれてしまいました。

手品のグッズを作るのでは、滋賀の谷が、横向きの矢印が一瞬で縦向きに変わるというハンカチの作り方と、演じる方法を発表しました。みんな本当に一瞬で変わるので、びっくりしておられました。そのハンカチが、百貨店で入手したハンカチとリールキーホルダーでできるというのが驚きです。

滋賀の谷は、この他にもテーパード万華鏡という台形ミラーを組んだ映像が球に収束するビー玉万華鏡と、二等辺三角形の鏡筒にビー玉を二つ付けたツインビー玉万華鏡の二つを発表しました。テーパードビー玉万華鏡は、覗くところに置いたものをビー玉の方から覗くと、ビー玉がきれいな模様浮かび上がってきます。点滅するLEDライトを置くと、ビー玉はきらきらと輝きだします。また、ミラーをはる台紙を作る時は、実際にミラーをはったものをコピーすればいいことや、のりしろはつけないでセロテープで止める方がいいことがわかりました。

谷はこのほかにも、スチレンボードでいろんな形のブーメランを作った資料や、光が渦巻き状に分光するシートを使ってレインボースコープの資料を発表し、実際につくってもらいました。

(文責；谷 岩雄)